

このコーナーでは、「お便り」や「写真」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆お便りは200文字以内。写真は1枚につき50文字以内。(文章は、必要に応じて添削します)
- ◆住所・氏名・年齢・電話番号・ペンネーム(記入がない場合イニシャルで掲載)を記入の上、ご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・FAX・メールまたは直接伊佐PR課(大口ふれあいセンター2階)へ
- ◆締切は、毎月10日
※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
※紙面の都合上、掲載できないこともあります。
- ◆投稿者の中から抽選でプレゼントが当たります。当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。



【投稿・問い合わせ先】

〒895-2511
伊佐市大口里2845番地2
伊佐PR課
「和みのひろば」係
☎ 294113
FAX 29420
✉ koho@city.isa.lg.jp



いつ頃から準備してたでしょうか。『変なものほくべるな』と注意されながら選ばれし薪で風呂をたき灰を集めました。その

突然のドラゴンカップ中止。ドラゴンポルト初挑戦、クラス全員で一生懸命練習していた5年生の息子は、知らせを聞いてガツクリ。暑い中、頑張っているみんなの姿を見ていたので、私もガツクリ。来年はあるといいな!! (大口東 こげだま 30代)

40年前、20数名いた将棋愛好者達。ほとんどの方々が亡くなられて、もう大口の将棋も駄目かなあと思っていたところ、天才高校生棋士藤井七段の出現でブーム再来! 伊佐市の将棋愛好復活を願い、忠元桜まつりで将棋の催し。二面の大盤で見物客や子供さん達との交流:楽しんでもらいました。(針持 将棋どん 60代)

こげだまさん、今年の想いを来年につきなご、次こそ力いっぱい発揮できるといいです。来年は開催できますように!



灰から灰汁をとり作った『あくまき』が幼いころは嫌いでした。でも、今では薪で風呂を沸かすこともなくなりりましたが、灰汁を購入してまで『まき』を作り節句を迎えます。糸の端を口にくわえクルッと回して切り分けるのがカッコ良かったなあと祖母を想いながら今年も美味しくいただきました。(山野 まっさん 50代)



人口のうごき (住民基本台帳から)

H30.5.1 現在 (前月比)

総人口	26,334人	(- 49)
男	12,235人	(- 35)
女	14,099人	(- 14)
世帯数	13,592世帯	(+ 23)



編集後記

今回は防災特集です。昨年の豪雨や台風直撃の際には、実際に自主避難された方々もいました。防災の知識と日頃からの備えは自分や大切な人の生命を救います。これからの時期、防災ハンドブック等を活用してくださいね。

さて、川内川から取水する水田の稲作中止が決まり、テレビ・新聞等で連日話題となつています。対象農家の皆さんが今年の転作に抱える不安ははかり知れません。伊佐米ブランドを守り抜くために、断腸の思いで決断された皆さんに、精一杯のお力添えができるよう務めていきたいと思ひます。

行政だけではなく、企業から支援をいただいたり、ふるさと納税では励ましや応援のコメントが寄せられています。人の温かさを改めて実感しました。きっと暗いことばかりではありません。オール伊佐で、支え合っていきましょう。